

医療情報標準化指針提案申請書

申請受付番号	009	事務局受付日	2008年1月8日	申請日	2008年1月7日 同年5月26日修正
提案申請団体名 ・責任者名	日本医療情報学会・稲岡則子		規格作成団体名 ・責任者名	日本IHE協会・石垣武男 日本医療情報学会・山本隆一	
提案規格案名 (版数)	和名	IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」およびその運用指針			
	英名	IHE: PDI(Portable Data for Images) Integration Profile, and Its Application Guideline			
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	DICOMファイル形式である画像を、CDなど可搬型媒体で受け渡しするためのディレクトリ構造などを定めたもの。個々のDICOM画像ファイルや、それらの内容を示すディレクトリDICOMDIRの、媒体内での置くべきフォルダなどのガイドラインが示されている。運用指針はさらに運用における適切な取り扱い方を補足するものである。			
	英文	The guideline defines where and how to store them in portable media, by which the data exchange is made. The contents comprise where in the media and in what directory the DICOM images and their directory DICOMDIR are to be located.; Also application guideline shows appropriate application of it.			
提案規格案の適用領域、使用方法:医療施設間で画像情報を可搬型媒体で交換する際に用いる。					
関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方):医用画像そのものはすでにHELICS推奨規格となっているDICOMIによるが、それらのファイルが媒体内でどのディレクトリに置かれるべきか、などの使用法と運用指針を定めている。					
提案規格案の関連情報	メンテナンスの方法:HELICS加盟を検討している日本IHE協会に代わり、ユーザとしての恩恵が大きい日本医療情報学会が申請するが、原規格のうちDICOMで規定される部分のメンテナンスは米国DICOM、IHEにかかわる記述および運用指針に関しては、日本IHE協会と日本医療情報学会が共同で行なう。				
	入手資格:特になし				
	入手方法:日本IHE協会のHPおよび日本医療情報学会のHPによる。 http://www.ihe-j.org/material/index.html 、 http://www.jami.jp (予定)				
	有効期限:特になし				
	価格等:無料				
	知的所有権:元となるIHE Integration ProfileはRSNAとHIMSSによって所有されているが、現在IHE全体の組織変更が進行中であり、2008年中にはIHE International Boardが所有することになる。運用指針は日本医療情報学会が所有する。				
	添付資料:1)IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」(なおこれは、IHE RADドメインの一連のプロファイルの中から、共通部分を残し、PDI部分を抜粋したものである。)、2)PDIに関する技術文書日本語版(IHE Technical Framework, Vol.I Integration Profiles15章和訳)、3)IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」の運用指針第1版				
実務運用上の連絡者	有限責任中間法人日本IHE協会 tel 03-3818-2250 〒113-0034 東京都文京区湯島2-18-6夏目ビル4F(事務局長:伊藤 良治 <rito@jira-net.or.jp>)				
特記事項	日本医療情報学会が申請することは、日本IHE協会運営委員会で承認されている。				